

神戸方面

古民家ホテル事業拡大

ノオトなど奈良、和歌山でも



古民家ホテル事業の拡大に意気込むノオトの藤原岳史社長（左から2人目）ら＝大阪市北区

古民家ホテル「NIPPONIA（ニッポニア）」を手掛けるNOTE（ノオト、篠山市）など3社は15日、ホテル事業を全国展開する方針を明らかにした。改正旅館業法が同日施行され、フロントの設置義務や設備の数値基準がなくなることから、開業を加速させる。

他の2社はホテル運営会社のバリューマネジメント（大阪市）とJR西日本。ノオトは地域活性化を目的に、篠山市などで古民家をホテルに再生。各棟に必要なフロント設置を免除す

る。国家戦略特区（兵庫、大阪、京都）の規制緩和を活用し、バリューマネジメントが点在する複数の宿泊施設を一体的に運営する。両社は昨年6月にJR西と連携協定を締結。JR西はニッポニアに宿泊するツアー商品の販売や、最寄り駅でレンタカーサービスの提供を予定している。

改正法で特区の規制緩和が全国で適用されるほか、客室やトイレ、洗面設備の数値基準なども撤廃。3社は本年度内にも奈良、和歌山の両県で同業態のホテルを開業予定といい、「空き家問題は深刻化しており、事業をさらに拡大して地方を活性化させたい」としている。（三島大一郎）

京 都 13 面

「分散型ホテル」

JR西が拡大へ

古民家を有効活用

JR西日本などは15日、点在する複数の古民家を、一つの「分散型ホテル」として運営する取り組みを拡大すると発表した。これまでは1棟ごとに営業許可が必要だったが、この日の改正旅館業法施行により一括で許可が得られるようになることを利用する。小さな古民家も有効活用でき、一つのホテルとなることでアビリティもしやすくなるという。

人口減少で増加する空き家対策や沿線活性化が目的で、古民家の再生を手掛ける企業「NOTE（ノオト）」（兵庫県篠山市）などと協力して古民家を改修する事業に力を入れてきた。